

## 主な製品の売上高の状況

製品名	平成25年度 売上高(実績) (億円)	対前期 増減率 (%)	平成26年度 売上高(見込み) (億円)	対前期 増減率 (%)
グラクティブ錠	357	+ 2.6%	320	△ 10.3%
オパルモン錠	325	△ 4.2%	285	△ 12.3%
リカルボン錠	111	+ 45.0%	120	+ 8.1%
イメンド/プロイメンド	88	+ 10.5%	105	+ 19.9%
オノンカプセル	135	△ 16.6%	105	△ 22.0%
リバスタッチパッチ	64	+ 63.8%	80	+ 25.2%
フオイパン錠	80	△ 8.7%	70	△ 12.6%
ステーブラ錠	65	+ 1.0%	65	—
注射用オノアクト	44	+ 18.8%	60	+ 36.9%
キネダック錠	74	△ 14.5%	60	△ 19.1%
オノドライシロップ	69	△ 6.0%	60	△ 13.0%
オレンシア皮下注	8	(平成25年8月発売)	30	+ 276.4%
注射用エラスポール	35	△ 9.1%	30	△ 15.0%

## 「ニボルマブ(ONO-4538)」悪性黒色腫を対象に製造販売承認申請

平成25年12月に、ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体「ニボルマブ」について、悪性黒色腫の治療薬として製造販売承認申請をしました。

現在、国内においては、外科手術により切除不能な悪性黒色腫の患者さんの予後は極めて悪く、その予後を有意に改善する薬物療法がないことから、新たな治療薬の開発が待ち望まれています。ニボルマブは悪性黒色腫を予定効能・効果とする希少疾病用医薬品の指定を受けており、早期の承認取得が期待されます。また、ニボルマブは免疫チェックポイント阻害剤という新規メカニズムの製剤であり、腎細胞がんや非小細胞肺癌、食道がんなどを対象にした開発も進めています。

参照 P11-12「開発品の主な進捗状況」